

令和4年7月7日

苫小牧市

市長 岩倉 博文 様

教育長 福原 功 様

苫小牧市女性団体連絡協議会

会長 北岸 由利子

ウクライナの軍事侵攻による人道的支援等を求める要望書

平素より、当団体の運営に関しまして、格別のご高配を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、ご承知の通り、ロシア進攻によりウクライナでは甚大な被害を受けており、多くの女性や子どもたちが、文化も言語も全く違う土地へと避難を余儀なくされています。日本でも、すでに1,000人を超えるウクライナ避難民が入国し、生活をはじめました。

私たち苫女連が長きにわたり、ロシアとの北方領土問題や女性の問題への取組を続けてきたこともあり、この度、ウクライナの人々を歓迎し、受け入れようとする気持ちを形にするため、下記の通り要望いたします。

記

- ① 積極的な本市への避難民の受け入れ態勢を構築
- ② 住居・就労・就学の確保、日本語学習支援を行う
- ③ 食料・生活用品等の提供、医療体制の確保
- ④ 経済的支援
- ⑤ 行政手続や買い物等日常生活の補助を行う等、相談窓口の設置
- ⑥ 本市在住のロシア国籍市民に対する不当な差別的取り扱い禁止の呼びかけ

以上